

令和7年度サーベイランススケジュール

畜種	対象とする疾病等	目的	実施方法				
			実施地域	実施時期	対象畜種	事業量 (頭、羽)	方法
牛	口蹄疫・伝達性海綿状脳症・ヨーネ病	防疫対策の強化	県下全域	年間	乳用・肉用	10,000	臨床検査
	伝達性海綿状脳症	定型・清浄性の確認 非定型・発生状況の監視	〃	〃	〃	6	ELISA
	ブルセラ症	清浄性の維持	〃	〃	〃	6	臨床検査、急速凝集反応、ELISA
	結核	清浄性の維持	〃	〃	〃	4	臨床検査、ツベルクリン
	ヨーネ病	清浄性の確認、感染牛の摘発、農場への侵入防止	横浜市（戸塚区、栄区、泉区及び瀬谷区の区域を除く区域に限る。）、川崎市、相模原市（緑区相原、相原1丁目から6丁目まで、大島、大山町、上九沢、下九沢、田名、西橋本、二本松、橋本、橋本台、東橋本及び元橋本町、中央区並びに南区の区域に限る。）、横須賀市、平塚市、鎌倉市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、南足柄市、三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町及び二宮町、足柄上郡中井町及び松田町並びに愛甲郡愛川町及び清川村の区域	〃	〃	2,074	臨床検査、スクリーニング、リアルタイムPCR、細菌検査（県域を2区域に分け、隔年でそれぞれの地域の検査を実施、発生農場：発生から1年間は4回／年以上、2年目以降は発生状況に応じて検査）
	アカバネ病	流行の予察	県下全域	6,8,9,11月	〃	200	臨床検査、中和試験
	牛伝染性リンパ腫	浸潤状況の把握、まん延防止	〃	年間	〃	980	臨床検査、ELISA、PCR、血液検査
	牛伝染性鼻気管炎	感染牛摘発、清浄性の確認	〃	〃	〃	10	臨床検査、FA、中和試験
	サルモネラ症	清浄性の維持・確認	〃	〃	〃	20	臨床検査、細菌検査
	牛ウイルス性下痢	浸潤状況の把握、発生予防	〃	〃	〃	360	臨床検査、中和試験、ELISA
豚	口蹄疫・豚熱・アフリカ豚熱・オーエスキー病・豚流行性下痢	防疫対策の強化	県下全域	〃	繁殖用・肉用	66,000	臨床検査
	豚熱	ワクチン接種による免疫付与状況の確認	〃	〃	〃	6,600	臨床検査、血液検査、FA、PCR、中和試験、ELISA
	豚熱	まん延防止	〃	〃	〃	137,949	ワクチン接種
	アフリカ豚熱	国内への侵入及び発生の予察	〃	〃	〃	50	臨床検査、PCR
	オーエスキー病	清浄性の維持、発生予防	〃	〃	〃	1,286	臨床検査、ELISA、中和試験
	豚丹毒	浸潤状況の把握、発生予防	〃	〃	〃	40	臨床検査、生菌凝集
	流行性脳炎	発生予防	〃	〃	〃	30	臨床検査、HI試験
	豚繁殖・呼吸障害症候群	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	1,500	臨床検査、ELISA、PCR
	サルモネラ症	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	100	臨床検査、細菌検査
	豚流行性下痢	清浄性の維持・確認、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	320	臨床検査、中和試験、PCR
鶏	高病原性鳥インフルエンザ・ニューカッスル病	防疫対策の強化	県下全域	〃	採卵用、肉用	1,090,000	臨床検査
	高病原性鳥インフルエンザ	発生予防・発生予察	〃	〃	〃	2,250	臨床検査、ゲル内沈降反応、分離培養
	ニューカッスル病	感染鶏群の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	1,070	臨床検査、HI試験
	鳥マイコプラズマ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	〃	〃	〃	2,160	臨床検査、凝集反応
	家さんサルモネラ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	〃	〃	種鶏	60	臨床検査
蜜蜂	腐そ病	感染蜂群の摘発、発生予防	川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、三浦市、南足柄市、三浦郡葉山町、中郡大磯町及び二宮町、足柄上郡山北町並びに足柄下郡箱根町	年間	採蜜用、受粉用	950	ふそ病検査（県域を3区域に分け、3か年でそれぞれの地域の検査を実施）
野生いのしし	豚熱	浸潤状況の把握	県下全域	年間	野生いのしし（死亡個体）	260	リアルタイムPCR、ELISA
	豚熱	浸潤状況の把握	〃	〃	野生いのしし（捕獲個体）	1,740	リアルタイムPCR、ELISA
	アフリカ豚熱	浸潤状況の把握	〃	〃	野生いのしし（死亡個体）	130	リアルタイムPCR
	アフリカ豚熱	浸潤状況の把握	〃	〃	野生いのしし（捕獲個体）	870	リアルタイムPCR
馬	馬インフルエンザ・馬流行性脳炎	防疫対策の強化	県下全域	年間	-	1,695	臨床検査
羊	口蹄疫・伝達性海綿状脳症	防疫対策の強化	〃	〃	-	280	臨床検査